

## 事業活動報告

事業所名

居宅生活支援部

1. 2017年度 事業所方針
<p>①一人ひとりが自分らしい生活を描き、心落ち着ける場をめざします。</p> <p>②関係機関と連携し、「その人にとって」を第一に考え支援します。</p> <p>③地域で暮らす障害のある人の一層の多様なニーズに応じていきます。</p> <p>④支援者のスキルアップと働きやすい職場環境をめざします。</p> <p>⑤亀岡福祉会ビジョン2018の実現に向けて取り組んでいきます。</p>
2.利用者・職員状況について
<p>○利用者数：31人（定員35人）</p> <p>あゆみ荘（現員3人） つばさ荘（現員4人） ホームすみれ（現員4人）</p> <p>ホームたんぼぼ（現員6人） ホーム菜のはな（現員5人）</p> <p>ホームたけのこ（現員4人） ホームひまわり（現員5人）</p> <p>*ホームに籍はあるけれど、定着していない人もおられます。</p> <p>○職員数：37人（正規5人、非正規32人）</p> <p>*ホーム職員、ショート職員、ホームヘルプ職員など様々な職種を兼ねています。</p>
3. 2017年度実践内容について
<p>○グループホーム</p> <p>・2017年度、亀岡福祉会に長きにわたり、在籍された利用者2名が亡くなりました。「つい先日まで、お元気だったのに」とたくさんの後悔が頭をよぎりました。でも、最後に顔を見て、おふたりとも作業所と出会い、たくさんの仲間と囲まれ、仕事にやりがいを持ち生きてこられた人生は、幸せだと思えました。</p> <p>○デイサポート・ショートステイ</p> <p>・ご家族のご病気やご不幸等の緊急時の受け入れを行い、緊急時にも安心安全に過ごせるよう支援を行いました。</p> <p>○ゆめネット</p> <p>・利用者家族全体を支える取り組みとして、制度にはない部分も担いました。</p> <p>・新規のガイドや行動援護の利用者が増えている。地域の多様なニーズに応えたいが、ヘルパー不足で応えられない現状があります。</p> <p>・65歳になられた利用者の制度移行があり、新しい環境で体調を崩される方もいました。</p>
4. 2018年度への課題について
<p>・欠員が出ているホームの有効活用。</p> <p>・ビジョン2018に照らした新ホームづくりの検討を行うとともに、現在ホームで起きている様々な問題を解決します。（建物の老朽化、高齢化によるハード面整備、地域との関係等）</p> <p>・必要なのに、制度にないものについて、関係機関と連携し、行政に伝え制度化されるように声を上げていきます。</p> <p>・引き続き、地域のニーズに応え地域の中でより良く、あたりまえに暮らせるための支援をめざします。</p>